



市では県内に居住している18歳以下のお子さんと妊婦の希望者へ個人線量計（ガラスバッジ）を貸与し、個人の積算線量を測定しました。今月号では、その結果をお知らせします。

担当課 健康づくり課 ☎3680

今回の測定結果は、平成24年6月から8月までと9月から11月までのそれぞれ3か月に装着したガラスバッジの積算線量を分析したものです。

その結果、実効線量が0・2ミリシーベルト以下の方は、1回目（6月～8月）が2,618人で80・2%、2回目（9月～11月）が2,542人で78・8%を数え、測定者全体の約80%になっています。

0・4から0・7ミリシーベルトの方は、若干ではあるものの割合が増えています。中でも0・4ミリシーベルトを記録した方は1回目と2回目を比較して1%程度上昇しています。しかし、外部被ばくの線量は健康に影響を与えないような数値ではありませんでした。

### 返却をお忘れなく！

2月28日に第3回目の測定が終了した「ガラスバッジ」を忘れずに返却してください。

測定されている方は、返信用封筒に入れ、同封されているアンケートと一緒に忘れずに投函してください。回収時期が遅れると測定不能になることがあります。

なお、市内小中学校に通学されている方は、学校で回収になります。

#### 【返却方法】

- ①ガラスバッジをケースから取り出します ②返信用封筒に入れます ③郵便ポストへ



▲貸与されたガラスバッジ

### 福島県「放射線と健康」 アドバイザーグループから

現状における約3か月の積算線量を把握するための測定では、健康影響が心配されるレベルの線量の方はいませんでした。

なお、平均的な結果と比べて数値が高い場合は、引き続き、居住や通学環境の空間線量率の把握、医療被ばくの有無、測定機器の着用状況の確認などを確認し、高い数値を示した背景の検証が望まれます。



## 平成24年度コミュニティ助成事業

積極的に支えます！

# 地域のコミュニティ活動



### 二見町一行政区(原町区)

福島第一原子力発電所の事故によって希薄となった世代間のつながり、絆を再構築し、青少年の健全育成を図るため、青少年育成事業として「安達太良山ウォーキング」を実施しました。

行政区内のコミュニティ活動の促進や伝統芸能の保存・継承のため、コミュニティ助成事業の補助を活用し、備品の購入などを行いました。

問合せ 総務課 ☎245222

### コミュニティ助成事業とは？

この事業は、行政区などのコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われるものです。

なお、この助成事業の財源は、財団法人自治総合センターの宝くじ受託事業収入で賄われています。

### コミュニティ助成事業メニュー

- ① 一般コミュニティ助成事業
- ② コミュニティセンター助成事業
- ③ 地域防災組織育成助成事業
- ④ 青少年健全育成助成事業
- ⑤ 共生の地域づくり助成事業
- ⑥ 地域の芸術環境づくり助成事業
- ⑦ 地域国際化推進助成事業
- ⑧ 活力ある地域づくり助成事業

### 四区子ども手踊り保存会(鹿島区)



衣装一式、ワイヤレスアンプ、  
櫻洞太鼓、リヤカー ほか

### 山下行政区(鹿島区)



集会所一式、エアコン、食器棚、  
書庫、下足棚、ホワイトボード